

公開シンポジウム

原発事故後8年の社会

「科学」・政策への

違和感を語る

2019年

2月18日(月)

13:00 ~ 16:30

(開場 12:30)

宇都宮大学

峰キャンパス大学会館2階

多目的ホール

原発事故から8年たち、報道も少なくなりました。しかし、「復興」の影で、今なお多くの人々が、放射性被ばくリスクに向き合うことを余儀なくされています。在住、避難、帰還、保養…どの選択肢をとっても、それぞれに葛藤や困苦が絶えません。日本や世界がSDGs(持続可能な発展目標)として“誰一人取り残さない”という目標を掲げている中で、現実はあまりにかけ離れていないでしょうか。本シンポジウムでは、研究者、ジャーナリスト、当事者と、多彩な顔ぶれが、原発事故後の「科学」・政策への、違和感を語り、将来へ向けた課題を考えます。ぜひお越しください。

第1部 (13:00-14:20)

基調講演

「原発事故後の  
『科学』・政策への  
違和感」

高橋若菜 (宇都宮大学国際学部准教授)

吉田千亜 (フリーライター)

嶋原敦子 (仙台高等専門学校客員准教授)

参加費無料

事前申込みは不要

お車での来場可

第2部 (14:30-16:30)

当事者の語り

島明美さん (福島県伊達市在住者)

菅野正志さん (新潟県への避難者)

大山香さん (栃木県への避難者)

パネルトーク

「課題と向き合うために:  
ジェンダー・法と政治・科学」

清水奈名子 (宇都宮大学国際学部准教授・司会)

蓮井誠一郎 (茨城大学人文社会科学部副学部長)

清水晶紀 (福島大学行政政策学類准教授)

尾内隆之 (流通経済大学法学部准教授)

主催: 宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター 福島原発震災に関する研究フォーラム  
茨城大学・福島大学・宇都宮大学研究コンソーシアム

お問い合わせ先: 栃木県宇都宮市峰町350 宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター  
028-649-5228 (月-金10:00-16:00)

## 基調講演者

### 高橋 若菜

宇都宮大学国際学部准教授  
(環境政治学)

震災直後より、主として新潟県内で母子避難者支援や調査を行う。2017-8年、避難の行動要因や生活破壊の現状についての量的・質的調査を統括。新潟県原発事故検証の生活分科会などで公表した。『原発避難と創発的支援』  
『お母さんを支えつづけたい』  
編著者。

### 吉田 千亜

出版社勤務を経てフリーライター  
震災後、原発事故による放射能汚染と向き合う多様な被害者・避難者の取材を続ける。事故によって人生の営みを変えなければならなかった人々の、ごく当たり前の声に耳を傾け続けている。『ルポ母子避難』『その後の福島』著者。  
岩波『世界』にて  
「孤塁 消防士たちの3・11」  
を3月号より連載。

### 嶋原 敦子

仙台高等専門学校  
客員准教授(国際開発論)  
震災前より、開発と環境問題に関する平和学的視点からの研究に従事してきた。震災後は一市民として地域の実践的活動に関わりながら、「復興」のもとで不可視化されていく被害についての調査・研究を行っている。  
『環境平和学』共著者。

## 当事者の方々

### 島 明美 さん

福島県伊達市在住の二児の母。  
事故後、測定や情報収集を続け、特に行政対応の検証を、情報開示請求を基に続けている。「住民に背を向けたガラスバッジ論文—7つの倫理違反で住民を裏切る論文は政策の根拠となり得ない」(『科学』2019.2月)共著者。

### 菅野 正志 さん

原発避難者新潟訴訟原告。  
大家族での平和な暮らしが事故を機に一変。二年半の二重生活(母子避難)から世帯避難へ。政治や原発に関心だったが、事故を機に自ら情報を集め考え行動するように。

### 大山 香 さん

栃木避難者母の会代表  
栃木県に避難してきた母親たちの孤立を防止し、連帯のための活動を続けている。2015年には、「母の会」として避難者証言集の編集を行った。

## パネリスト

### 清水 奈名子

司会 兼  
宇都宮大学国際学部  
准教授(国際関係論)  
事故後の人権侵害問題について、人間の安全保障やジェンダーの視点から研究している。  
『原発事故被害回復の法と政策』共著者。

### 蓮井誠一郎

茨城大学  
人文社会科学部  
副学部長  
(国際政治学)  
事故後の茨城での市民測定支援や放射線基礎知識の勉強会などを開催。平和学会「3・11」プロジェクト委員長。

### 清水 晶紀

福島大学  
行政政策学類  
准教授  
(行政法・環境法)  
原子力災害対策・原子力安全規制の法的統制や、福島原発事故に対する国家賠償責任について研究している。

### 尾内 隆之

流通経済大学法学部  
准教授(政治学・  
科学技術社会論)  
科学技術(特に原発問題)のあり方と市民社会の関係について、3.11以前から考え続けている。  
『科学者に委ねてはいけないこと』編著者。

開会挨拶 佐々木一隆 (宇都宮大学国際学部長)

閉会挨拶 重田康博 (多文化公共圏センター副センター長)

### 交通アクセス

JR「宇都宮」駅からバスで約15分、  
「宇大前」「宇都宮大学前」下車、タクシー約10分。  
(JR宇都宮駅より、約2km)

〒321-8505

栃木県宇都宮市峰町350

宇都宮大学峰キャンパス 大学会館2階 多目的ホール

問合せ先: 多文化公共圏センター

Tel: 028-649-5228(月-金10:00-16:00 担当: 周)

